

## 合掌

JJ1SXA 池

一期一会という言葉にぴったりの出会いであった、川橋正治氏が、4月2日、広島県安浦町の国道185号線で、リヤカー付きの自転車を押しながら通行中、乗用車に追突され、道路に投げ出されて、7時間後に死亡したとの報を新聞で見ました。

氏は、長野県在住ですが、駄菓子や玩具を積んだリヤカーを自転車で曳いて全国を回り、「リヤカーの寅さん」として、親まれた人です。

全国の県庁所在地は全て回り、まだまだ行きたい所が沢山あると意気軒昂でしたが、宿泊は、殆んど野宿だということで、何時もはリヤカーの下で、悪天候の時はリヤカーの荷物を片付けてその中で寝る時もあるのかと想像し、満載の荷物を見ると大変なことだなあと思いました、自転車だけと違い、一応屋根付きのリヤカーがあるのは強みかと、変に納得してお話をお聞きしました。

お会いしたのは、2002年7月、北海道旅行中、えりも町の旅館に着いて少し時間があるので、付近の散策に出かけた時、偶然にリヤカーを見かけ、話をしました。



(リヤカーの寅さんこと川橋氏とSXB)

もうそろそろ引退したらと家族には言われていたようですが、小柄の身体で、荷物満載のリヤカーを自転車で曳きながら、ほとんど徒歩で全国津々浦々を回るといのは、壮挙とも言えます、スナップでは、わざわざヘルメットを被りしっかりポーズをとっていましたが、その時購入した、紐のついた呼び笛1個が形見に残っています。

享年 78 歳、ご冥福をお祈りします、合掌。